

全L協事業28第36号
平成28年5月23日

正会員、賛助会員 各位

(一社) 全国LPガス協会

充填カップリングへのグリス塗布等について
(お願い)

平成24年12月、(一社)日本自動車工業会より、液体噴射システムを採用した新型セドリック、新型コンフォート系において、充填カップリングに塗布したグリスがオートガスに混入して燃料フィルターに目詰まりを起こし、燃料流量不足からエンジン不調が発生することがあるとの相談があり、当協会から会員各位に、充填カップリングへのグリスの過剰な塗布には注意をしていただくよう文書発信いたしました。

この度、(一社)日本自動車工業会から、前回同様のトラブル発生していることが確認されたとの事により、当協会あてに「LPG（オートガス）の車両充填時における充填カップリングへのグリス塗布についてのお願い」という文書をいただきました。

当協会としても、LPG車ユーザー保護の観点から、このようなトラブルの発生防止に協力すべきと考え、各LPGスタンドにおいて別添文書記載の対応を行っていただくよう、貴協会会員及び貴社関係のスタンド事業者にも周知をお願い申し上げます。

なお、本件に関する情報は、今後も適宜お伝えいたします。

以 上
(担当：事業推進部 堀江、宮田)
(発信手段：Eメール)

平成 28 年 4 月 28 日

(一社)全国LPガス協会御中

(一社)日本自動車工業会

LPG(オートガス)の車両充填時における

充填カップリングへのグリス塗布についてのお願い

平成 24 年 12 月に標題の件について、オートガス充填時のグリス塗布に関するお願い事項を日本自動車工業会からの申入れとして全国LPガス協会様から協会会員様へ御展開していただきました。

お陰様で、その効果により、オートガスに混入したグリス成分による燃料フィルター詰りの件数が、一旦、減少傾向を見せました。ところが、その後の追加調査により、同様のトラブルが、上記申入れの御展開後も散発していることが確認されました。

つきましては、今後、同様のトラブル撲滅のため、全国のオートガススタンド、および、簡易スタンドでのオートガス充填時には、以下のお願いをさせていただきたく存じますので、御理解、御協力の程、よろしくお願い申し上げます。

- (1) オートガス充填時には、充填カップリングにグリスを塗布しないでください。
- (2) グリスなしでは、充填カップリング接続作業が円滑に行えない場合には、グリス塗布に替えて、下記①、②のいずれかの方法での御対応をお願いします。
 - ① カップリング内の O リングを潤滑剤含侵 O リングに替える
(潤滑剤含侵 O リングは、「LPガス自動車普及促進協議会が販売されている“潤滑油不要の小 O リング”」として、LPガス自動車普及促進協議会様 (TEL:03-3597-6410)から入手可能です。)
 - ② エンジンオイルを O リングに塗布する
(塗布できるエンジンオイル種および塗布要領については、別紙を御参照ください。)

本件につきまして、会員スタンド、関連会社様関係スタンドにも周知の程、よろしくお願い申し上げます。

また、本件に関する情報は、今後も適宜、お伝えしてゆきます。

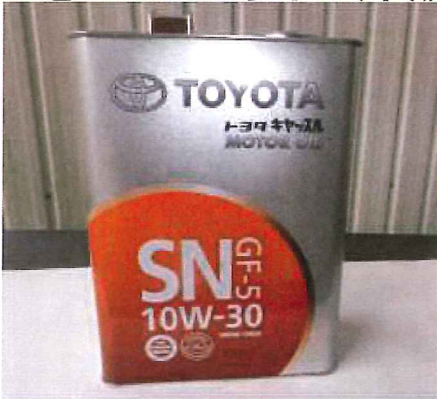
以上、よろしくお願いいたします。

オートガス充填時、充填カップリングへの オイル塗布作業要領書

(1/2)

1. 準備品

①エンジンオイル(市販品)



エンジンオイルのグレードはSL以上であれば
粘度の指定なし。(写真は一例として10W-30だが
高粘度オイルほど、垂れにくい。)

②オイル容器



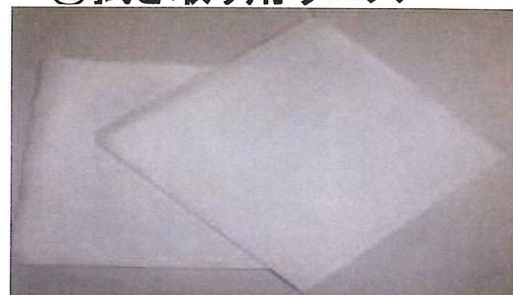
500cc程度のふた付の容器を準備し
開口面積は塗布用のハケが容易に
挿入できるものが、望ましい。

③塗布用のハケ



ハケの大きさは、幅:約2cm 長さ約4cmの
LPG充填カップリング内部のOリングに
塗布し易い大きさの物を用意。
(筆、歯ブラシなどでも良いがオイルに溶けない材質を使用。)

④拭き取り用ウエス



オイルをこぼしてしまった際の
拭き取り用に用意。

2. 作業要領

(2/2)

①オイル容器に少量のエンジンオイルを注ぐ



エンジンオイルを容器に
100cc程度移す。

②塗布用のハケに適量エンジンオイルを取る



塗布用のハケから滴下しない程度(1cc程度)に
エンジンオイルを取り出す。

③ハケを使用してエンジンオイルを塗布する。



ハケで充填カップリング内部の
Oリングにエンジンオイルを
一周塗布する。

注)使用後はオイルやハケに異物混入、汚染しないように保管してください

3. 禁止事項

Oリングに直接エンジンオイルを散布しないでください。

